

もくじ

- ・ かちかちやま

かちかちやま

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： サトウ アユミ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

むかし むかし、あるところに、
おじいさんと おばあさんが すんでいました。
ふたりの すんでいる むらは、やまのふもとに
あったので、おじいさんが はたけしごとを
していると、いつも やまから どうぶつたちが
あそびにきていました。

この どうぶつたちのなかに、いっぴきだけ、
いたずらばかりする 『たぬき』がいました。
たぬきは はたけをあらしたり、
ほかの どうぶつたちを いじめたりするので、
おじいさんは いつも こまっていました。

あるひ おじいさんは、
この いたずらたぬきを つかまえてやろうと、
たぬきが いつも すわっている きりかぶに、
とりもちを めっておきました。
おじいさんが いつものように
はたけしごとを はじめると、きょうも また、
あの たぬきが やってきました。



「こらあ！ いたずら たぬきめ！！」

おじいさんが くわをふりあげると、
たぬきは ちょこまかと はしりまわり、
やがて きりかぶのうえに すわって、
てをたたいて わらいはじめました。

(ひっひっひ、たぬきのやつ、
ひっかかりおったな・・・)

おじいさんは くわをかまえて、
たぬきに ちかづきました。
たぬきは、すぐに にげようとしたが、
きりかぶに おしりが くっついて、
みうごきが とれません。

「どうだ、まいったか！」

こうして おじいさんは、
ついに いたずらたぬきを つかまえました。

